



北九州市立

富野中学校学校通信 NO12

平成29年3月15日

北九州市立富野中学校
校長 山下 新三

新入生説明会・こんにちは6年生を行いました

2月3日(金)に、小学6年生を迎えて、「新入生説明会及びこんにちは6年生」を本校で行いました。本年度は、保護者への中学校生活の説明と生徒会による学校紹介や授業体験、部活動紹介を合わせて行いました。私からは、富野中学校の現在の様々な取組等に触れ、「安心して、目標を持って」入学してきて欲しい旨を伝えました。児童は、それぞれのグループで行った体験授業を楽しそうに受けていました。富野中校区では、「こんにちは6年生」の取組や中学校の職員が小学校で給食を食べる給食交流など先進的な小中連携教育に取り組んでいます。今後とも、多くの児童が安心して、富野中学校に入学してくれることを願っています。



<授業体験の様子>

学校評議委員会を実施しました

2月15日(水)、校長室で富野中学校評議委員のPTA会長 杉田浩様、富野校区自治会長 金丸善久様、桜丘校区自治会長 井地英人様、子育てサポーター 川嶋洋子様にお越し頂き、第2回学校評議委員会を実施しました。本年度の取組や課題、今後の取組の方向性等についてパワーポイントを用いて校長が説明を行いました。また、学校評価アンケートの結果等についてホームページで公表しておりますので、ご覧いただければと思います。

福原賞を受賞しました

おめでとうございます。
継続した取組を頑張ってください。

2月15日(水)、北九州市役所本庁舎にて、ボランティア活動や善行、人命救助等の活動を行った個人や団体に贈られる「福原賞」を本校の2年生の平原辰弥くん、福田裕司くん、坂井翔くん、坂井颯くん、岩本幸輝くんが受賞しました。おめでとうございます。5人は、主に教頭先生の指導の下、朝から挨拶運動や落ち葉集め、溝掃除などを続けてきました。昨年度から見違えるように頑張り、奉仕活動などを進んで行っています。この富野中学校が、これからも多くの生徒による善行が溢れる学校になってくれることを願っています。



<表彰式の様子>

1年生 保育体験学習を行いました

3月1日(水)、1年生は、朝から保育体験学習を行いました。10月に計画していた行事でしたが、台風のため延期しました。生徒が訪問先に電話連絡をして、受け入れの願いをしました。訪問先の希望で2名から12名のグループに分かれ、12箇所の保育園・保育所・幼稚園で、乳幼児との貴重な体験を通して多くのことを学ぶことができました。以下、生徒作文の抜粋を掲載します。

- ・お世話をするは大変で疲れるけど、自分も楽しくなって良い経験ができてよかったです。最初は園児が楽しんでくれるのか、喜んでくれるのか心配したけど、喜んでくれたのでホッとしました。
- ・今まで園児の立場でありがとうと言っていたのが、ありがとうって言われる立場になっていたのが、自分の成長だと感じた。
- ・男の子が「先生来てくれてありがとう」と言ってくれて、嬉しかったです。とても疲れたけど行って良かったです。
- ・最後、帰るときに面倒を見ていた1歳児が悲しそうにしていたのが、嬉しかったです。帰りたくなかったけど楽しかった。
- ・人と関わる仕事はコミュニケーションが本当に大切で、その中にもやりがいがあることを知りました。そして、責任重大な仕事を毎日こなす保育士さんはすごいと思いました。
- ・小さい子と触れあうのがとても楽しみになりました。また保育体験をしたいです。

1年生 門司港レトロウォークラリーを行いました

3月8日(水)、1年生は、門司港で校外学習を実施しました。時折、雪交じりの雨が降る厳しい天候でしたが、「責任感・思いやり・団結 全員で三つ守って思い出に残る楽しいWRにしよう！」のスローガンを掲げ、班ごとにコースを決め、小倉駅に集合後、門司港周辺のウォークラリーを行いました。生徒は、チェックポイントや班で選んだ見学場所について、30問のクイズを解きながらコースを回りました。生徒達はトラブルもなく、爽り多い学年行事となりました。1年生最後の学年行事となりましたが、スローガンの内容を来年に繋げてくれればと思います。



ひまわり学習塾が開級しました

本年度のひまわり学習塾が、3月3日(金)に閉級しました。閉級式では、校長が修了証を一人一人に手渡し、学ぶことの楽しさを感じることができたことをこれからの生活に活かして欲しいことを伝えました。本校は、昨年度に引き続き教育委員会から任命された指導者に来校してもらい、放課後ひまわり学習塾を開催しました。3年生(卒業生)の15名という限られた生徒が対象でしたが、参加した生徒は途中でやめる生徒もなく、熱心に勉強に取り組み、進路選択に役立てることができました。

3年生を送る会を行いました

3月3日(金)、5・6校時に、3年生を送る会を行いました。生徒会が中心となり、生徒会の寸劇やダンス、1年生と2年生全員からは歌や記念品を3年生に贈りました。また、3年生からもすばらしい歌声のプレゼントがありました。思い出のプレゼンテーションやお世話になった先生からのビデオレターで、心温まる送る会となりました。



< 3年生からの合唱 >



< 3年生への寄せ書き >

卒業式が終わり、卒業生87名が巣立っていきました

3月10日(金)、87名の卒業生が富野中学校を巣立っていきました。卒業式は、厳粛な中滞りなく終え、卒業生は卒業の歌(道・旅立ちの日に)2曲を堂々と立派に歌い上げました。

私は、式辞の中で「自分を大切にすること」について話をしました。卒業生一人一人が、沢山の方々から多くの愛情を受けて成長してきたことを相田みつをさんの詩「つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの」の紹介を踏まえながら伝えるとともに、より良く生きるためには、努力をし続けてほしいと伝えました。富野中学校の卒業生も1万6百人を超えました。

1・2年生の皆さん、「光陰矢のごとし」と言われますが、月日が過ぎることは、矢が飛んでいくようにはやく感じるものです。一日一日を大切に、君たちの手で、来年、そして再来年、すばらしい君たちの卒業式を迎えてください。



< 卒業式の様子 >



< 教室の飾り付け >

保護者・地域の皆様へ

本年度も保護者及び地域の皆様方のご理解とご協力のお陰で、無事を終えることができました。本当にありがとうございました。富野中学校の校長として赴任して3年目を終えますが、子どもたちにも落ち着きと成長が感じられるようになりました。まだまだ課題はありますが、今後とも富野中学校にご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。